

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2023年 8月 18日
研究期間	2024年 3月 31日 まで
研究の名称	子宮体癌 術後再発中・高リスク群に対する術後化学療法における、PSMを用いたTEC療法とTC療法の予後比較試験
研究対象	子宮体癌手術により再発中・高リスク群(類内膜腺癌G1/G2かつ筋層浸潤1/2以上、類内膜腺癌G3、漿液性癌・明細胞癌、子宮頸部間質浸潤または腔壁浸潤を有する場合、付属器や漿膜・基靱帯への腫瘍進展がみられた場合、脈管侵襲を伴う場合、リンパ節転移陽性の場合、膀胱や直腸浸潤・腹腔内播種や遠隔転移を有する場合)と診断され、術後化学療法を行った方
対象材料	診療記録
対象期間	2010年以降2024年3月31日まで
研究の目的意義	子宮体癌の術後再発中・高リスク群に対する術後化学療法において、PSM(Propensity score matching)を用いて交絡因子を調節しTEC療法(Paclitaxel+ Epirubicin+ Carboplatin)とTC療法(Paclitaxel+ Carboplatin)の予後比較を行います。子宮体癌術後再発リスク群に対して、より効果的に予後改善に寄与しうる化学療法レジメンを解明することが目的です。
方法	症例の背景因子(病歴や治療歴)や手術関連因子、病理組織結果、副作用などの発生状況、生存や再発の有無を集積し解析します。
個人情報の取り扱い	データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
問い合わせ先	市立豊中病院 産婦人科 辻江 智子 〒560-8565 大阪府豊中市柴原町4-14-1 TEL:06-6843-0101(代表)